

【会場】

サンイチビレッジ (日本), 南フィリピン医療センター (フィリピン), バギオ総合病院・医療センター (フィリピン), デ・ラ・サル大学メディカルセンター (フィリピン), ダグパン・ドクターズ・ビルラフラー記念病院 (フィリピン), セントルークス医療センター ケソン市 (フィリピン), フィリピン大学 フィリピン総合病院 (フィリピン), ヴィセンテ・ソット記念医療センター (フィリピン), イロイロ市セント・ポール病院 (フィリピン), フィリピン先端科学技術機構 (フィリピン), 国立循環器病研究センター (日本), 九州大学病院 (日本)

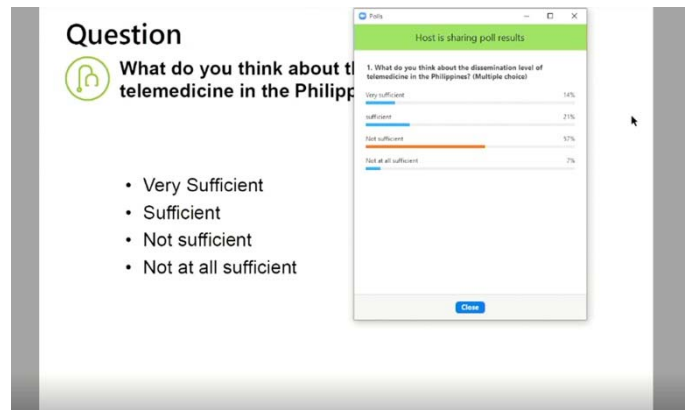
【概要】

アジア健康構想 (AHWIN) 協力覚書に基づき、インドネシア、ベトナム、フィリピン、インドの各国と、デジタル技術を活用した遠隔医療技術に関するオンライン国際カンファレンスが内閣官房により企画された。日本企業が各国の医師達に対して自社製品をユースケースとして紹介し、今回はフィリピンの主要大学や基幹病院との間で活発な意見交換が行われた。



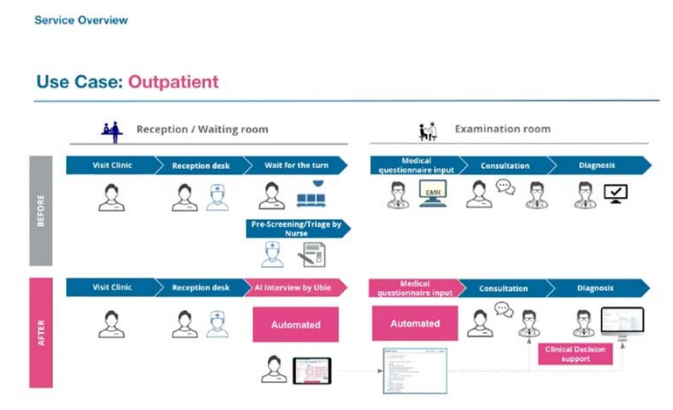
モニタに表示される接続施設。

撮影場所：九州大学病院



Zoomの投票機能を用いたQ&Aセッションの様子。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



ファシリテーターを務めるMr.竹内。

撮影場所：九州大学病院



内閣官房チームの様子。

撮影場所：九州大学病院